



洞爺湖マラソン2014

新緑映える洞爺湖力走



全国から市民ランナー6,700人集う



特別ゲストとして参加した赤羽有紀子さん

洞 洞爺湖マラソン2014（室蘭陸上競技協会、北海道新聞社など主催）が、春本番を迎えた洞爺湖で、5月18日、湖畔を舞台に行われました。フルマラソン約4、200人を含め、10^{キロ}、5^{キロ}、2^{キロ}の各コースに総勢約6、700人がジョアの大地を駆け抜けました。今年、前身のオールドボーイロードレースから数えて40回の節目の大会。スペシャルゲストとして、ママさんランナーとして活躍した赤羽有紀子さんが



5年ぶり2度目の優勝となった藤澤舞さん

小学生
は、5年ぶり2度目の優勝となった藤澤舞さんは、5年ぶり2度目の優勝となった藤澤舞さん

参加者が、虻田中学校吹奏楽部のファンファーレの応援を受け、9時30分に湖畔を周回するコースに飛び出し、10^{キロ}、5^{キロ}の各コースもそれに続きました。沿道では、虻田、洞爺の両高の生徒をはじめ、室蘭北斗文化学園、略農学園大学の各学生と地域住民らが、給水やゴール地点などのボランティアを行い、絶景の洞爺湖を疾走するランナー一人ひとりに、激励の声援と拍手を送り続けました。フルマラソン男子は、斉藤太一さんが、2時間25分16秒で、大会5連覇を果たし、「毎年名前を呼んで応援してもらいうれしい」と優勝の喜びを語りました。

10^{キロ}に参加し、前日にはトークショーも開かれ、記念大会を盛り上げました。やわらかい日差しを浴びて8時30分に最初の2^{キロ}コースがスタート。続いて当日のメインとなるフルマラソン



5連覇を果した斉藤太一さん

ん。「走りやすかった。来年も優勝したい」と2連覇に意欲を見せました。大会に先立って17日には、洞爺湖文化センターで前夜祭が開かれ、皆川一男実行委員会会長は、挨拶で「多くのボランティアの皆さんに支えられ40回目を迎えました。まだ課題もありますが、問題を解決して前進していきたい」と感謝の言葉を述べました。



選手を応援する虻田高生たち